

至徳

射水市立金山小学校 学校だより



令和4年6月30日

第6号
(姉妹校交流特集号)

6月25日（1日目）

【富山駅へ出迎え】

いよいよ迎えた姉妹校交流の日。土曜日にも拘わらず学校は慌ただしく動き始めました。国旗を立てて、玄関を掃いて、校舎内を見回って。環境の最終チェックを終え、受け入れ体制完了です。学校を先生方に任せ、PTA役員の方4名と富山駅へと向かいました。

コンコースの新幹線改札口辺りでの待ち時間。視線が時計と改札を行ったり来たり。待ち遠しさから長く感じました。

9時31分、到着の時刻になりました。視線はもう改札奥の階段に釘付け。やがて猿楽小学校の子供たちの姿が見えました。「こんにちは。こんにちは」と挨拶をしながら出迎えました。校長先生を始め、先生方や保護者の方とは初対面のはずなのに、前から知っているような不思議な感じがしました。

バスへと誘導すると、「ムズムズくんいる！」との言葉が。事前に射水市について調べてきてくれたのでしょうか。親しみを感じてくれているようでした。

【金山小学校へ】

車内での和やかな会話も一緒に運んでバスは金山へ向かいました。日が差して映える緑の景色が東京の子供たちには新鮮に映ったようです。

「ここから金山です」と伝えて間もなく見えてきた校舎。校庭では金山小学校の子供たちが手を振って歓迎しています。その光景はとても華やかで「待ってたよ」の気持ちが表れていました。

青井谷公民館で降りて、コミュニティセンター横で列を整えいざ入校です。精一杯踊って歓迎する金山小学校の子供たちの間を猿楽小学校の子供たちが進んでいきます。初めての対面ながら、子供たちの表情はにこやかでした。



【控え室へ】

先生方、保護者の方、子供たちとそれぞれ分かれて控え室に入りました。校長先生と支える会の会長さんと相談役さんは校長室へ。この日は、射水市長さん、市議会副議長さん、教育長さんも来校してくださいました。

長年続く交流だけあって、市長さんと支える会の方とはもう顔見知り。紹介する必要もなく、久しぶりの再会を喜び、会話を楽しんでいらっしかったです。地域挙げての交流であることを感じる光景でした。



【姉妹校交流45周年歓迎交歓式】

茹だるような暑さでありながらも引き締まった雰囲気、歓迎交歓式が行われました。

両校代表児童による歓迎の言葉、来訪の言葉は、とても立派でした。

最後に姉妹校交流の歌「鳩よ 翔べ！」を全員で斉唱しました。「富山と東京、離れた場所にありながら、両校の名前が入った歌をそれぞれの学校が大切にしている」とは、何と素敵なことでしょうか。これまで多くの人がこの歌を歌って縁を結んできたことを考えると、その歴史を思い胸にこみ上げてくるものがあります。



【記念写真撮影】

両校のみんなで記念写真の撮影を行いました。大切な記念、大切な思い出として残ることでしょう。



【給食】

メニューはカレーでした。それに何か射水市らしいものを添えられないかと考え、シロエビをトッピングすることにしました。

しろえび倶楽部の方に事情を話すと快諾してくださいました。当初、2kg程の提供と聞いていましたが、実際にはその倍近くの量がありました。「少しでも協力できれば」との有り難い気持ちからだと思えます。

調理員さんにもご苦労いただきました。それだけのエビを揚げるのはかなり大変だったようです。

富山湾の宝石シロエビは好評でした。



【金山活動Ⅰ】(金山すてき発見)

金山里山の会、射水市ビオトープ協会のみなさんに協力していただいて、木工体験とビ

オトープ鑑賞をしました。

木工体験では、木ホルダーを作りました。木片に交流相手の似顔絵を描いて交換します。「上手く描けなかった」の声が聞こえましたが、友達が描いてくれた似顔絵は交流のよい記念になるでしょう。

外では、チェーンソーを使っての切断やシイタケ菌床づくりの実演等もありました。

ビオトープ鑑賞では、金山の里山の生き物を紹介しました。猿楽小学校の子供たちは、ヤゴ、サンショウウオ、モリアオガエル等を興味深そうに見ていました。

活動Ⅰからは両校児童が一緒になっての班別活動。活動が終わる頃にはすっかり親しくなっていました。



【金山活動Ⅱ】（お話を聞く会・経嶽山散策）

姉妹校交流の中心となる意味あいをもち活動です。疎開当時の子供たちがどのように過ごしていたのかを翁徳寺のご住職に話していただきました。

境内や本堂・庫裏は当時からのものなので、それを見て「ここで、あのよう」と当時の生活を想像していたことでしょう。

その後、経嶽山に登って遠くを眺めました。「お母さん、お父さん」と叫んだ班もあり、親元を離れた当時の子供たちに心を通わせていました。



【金山活動Ⅲ①】（ホタル鑑賞会）

本校の学習支援講師である山下先生にホタルについての説明をしてもらいました。

その後、ホタルの生息場所へ鑑賞に出かけました。雨が降った後は数が少ないとのことから心配しましたが、暗くなるに伴い姿を見せてくれました。

できれば乱舞を見てもらいたかったのですが、そこまでの数はいませんでした。しかし、初めて見る子が多かったようで、自然の中に生きる昆虫が放つ光に感動しているようでした。



【金山活動Ⅲ②】（花火鑑賞・花火体験）

ホテル鑑賞から戻って、花火を鑑賞しました。地域の方に知らせてあった時刻より遅くなりましたが、「子供たちに見せてあげたい」との配慮から、子供たちの準備が整うまで打ち上げを待っていただきました。

校庭やグラウンドには、地域の方や卒業生たち等、たくさんの方が集まってくださいました。地域の皆さんが交流を祝い、猿楽小学校の子供たちを歓迎してくださっているようでした

花火の終了をもって初日の活動は終わり。金山小学校の子供たちは帰宅。猿楽小学校の子供たちは宿泊場所である呉羽青少年自然の家に向かいました。



6月26日（2日目）

【呉羽青少年自然の家へ】

金山小学校の5・6年と教員9名が青井谷公民館に集まり、猿楽小学校の子供たちが待つ呉羽青少年自然の家へと向かいました。前日の解散が遅い時刻だったにも拘わらず、子供たちはみんな元気でした。

さて猿楽小学校の子供たちはどうかな？ 「おはよう」と声をかけると元気な返事が返ってきました。姉妹校交流2日目も予定通り進みそうです。

【金山活動Ⅳ】（オリエンテーリング）

班別でのオリエンテーリングを行いました。ポイントを探しながら進むので、班員の協力が不可欠です。「あっちじゃない」「ここ進んでみようか」などの相談で一層仲よくなれる活動です。



【金山活動Ⅴ】（ザリガニ釣り）

釣り竿にさきイカを付けてザリガニを釣りました。最初は上手く釣れなかった子供たちも、要領を得てからはバケツから溢れるほどたくさん釣りました。

猿楽小学校の子が服に止まったトンボを、「さっきからずっといるんですけど」と見せに来てくれました。自然の中の生き物との触れ合いをさせてあげられたようで嬉しく思いました。



【昼食まで】(子供たちが考えたゲーム)

活動Ⅴが終わってから昼食までの時間、金山小学校の子供たちが考えたゲームをしました。自己紹介を兼ねたしりとりや指示された図形を思い思いに並べてできた絵に名前を付けて紹介するゲーム、大きなシートの傾きを使ってバケツにボールを入れるゲーム等。いずれも全員参加型で、とても盛り上がりました。



最後に、大きな白布に交流を振り返っての感想を書いて見せ合いました。素敵な感想がたくさん詰まっていました。

【海王丸パーク】

「金山は山の所だったけど、海の所も射水市だよ」と説明をしました。



【お別れ式】(富山駅フロアシャンデリア)

富山駅へ移動し、とうとうお別れです。互いにお礼の言葉を述べ合った後、向き合って「さようなら」を伝え合いました。

あっという間の二日間でした。いろいろな場面に溢れていた嬉しそうな笑顔。それを見て、出会っていいな。仲よしになるっていいな。姉妹校交流っていいなと思いました。交流で深めた友情を大切にしていきたいと思っています。

姉妹校交流が始まって45年。疎開した人たちが伝え合った「思いやり」と「感謝の気持ち」が受け継がれて、今私たちも出会うことができました。年がずれていたら、疎開の場所が違っていたら、そして今の私たちがこの学校にいなかったら出会いはなかったのです。不思議です。不思議過ぎます。

これまで受け継がれてきた架け橋を、これからも大切にしていってほしいと思います。

この交流を行うにあたり、実に多くの方々にお世話になりました。みなさんの支援があって成り立った交流です。心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

